

日本一の読書のまち三郷だより

44
平成25年
10月
三郷市教育委員会

燈火親しむ～秋の夜長、家族で読書を！！秋の夜長は、心静かに物を考えたり読書したりするのにふさわしい時間です。「燈火親しむ」の言葉の原典は、唐の詩人、韓退之の詩の一節からとられたものですが、今では、すっかりおなじみの言葉として定着しています。読書の秋、テレビを消して、家族そろって読書を楽しみましょう。

日本一の読書のまち三郷宣言記念講演会大盛況

9月28日(土)1時30分から文化会館小ホールで、「日本一の読書のまち三郷宣言記念講演会」が開催されました。満席となるほど講演会の人気は高く、2階視聴覚室で同時に映像を流しました。



吹上小学校6年生全員による発表
群読 詩「本気」あいだみつお作
『言葉の力』から
・漢詩 「偶成」
・詩「よかったな」まどみちお作
朗読劇 手作り民話布絵本から
・「じろうと弁天さま」



日本一の読書のまち三郷の応援団長として、どうぞよろしくお願いたします。

三郷は市をあげての取り組みがすばらしい！これからも三郷の応援をしますよ。



柳田氏に木津市長から日本一の読書のまち三郷の応援団長委嘱書をお渡ししました。

感動の講演・柳田邦男氏 — 「物語を生きる人間」と本の力 —



講演は、静かな口調でひとりひとりに語りかけるように話され、内容は人々への愛と情熱と力強さが胸に響く感銘深いものでした。

参加者の感想から

- ・「自分が人生に問われている、何ができるのか」深い言葉です。
- ・「どんな人でもドラマのような人生を送り、それは長編小説のようだ」という話が心に残りました。
- ・絵本や本は、人生に大きく影響を与え、人生を変えていくほど力があるのだと分かりました。
- ・「読みきかせ」の大切さや力などを再確認し、今の自分のお話会のやり方でいいのだ！と思って元気ができました。

こんな公園で遊びたい！！ 三郷の民話で壁画

鷹野一丁目公園



長戸呂保育所の跡地が鷹野一丁目公園になりました。開園式に先立って、八木郷小学校のこども達や保護者が「三郷の民話」を題材に、素敵な壁画を描きました。写真はこいやうなぎに手形でうろこの模様を描いているところです。全児童の手形と名前が壁画に描きこまれました。この制作には八木郷小学校の先生方だけでなく、「親父の会」など保護者の方々の熱心な協力があって実現・完成をしました。

9月26日は開園式でした。朝は雨でも式の始まる時間には雨もぴたっと止み、民話のかっぱやうなぎも応援してくれているようでした。公園で遊ぶだけでなく、ぜひ、壁画を見にお出かけ下さい。

「ららほっとみさと」で子ども司書のおはなし会



第一期子ども司書養成講座のこども達が9月21日(土)に「ららほっと」でおはなし会を行いました。集まったこども達も笑顔で手遊びに参加していました。大型絵本「せんろはつづくよ」「ねずみのかいすいよく」などの読み聞かせに瞳を輝かせて聞いていました。

第3回学校読書活動推進協議会開催



三郷の学校読書活動の中核的な役割を担っている学校読書活動推進協議会が9月25日開催されました。読書月間への取り組みや『言葉の力』活用などについて、活発に情報交換が行われました。



うちどく推進で家族の絆を培おう！



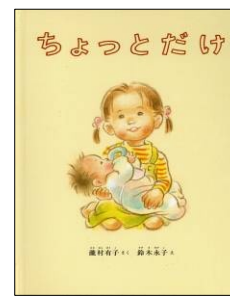
柳田邦男氏が講演で紹介された本の一部を紹介します。



長倉洋海と東北のこどもたち/編
NHK出版



ヴィクトール・フランクル/著
霜山徳爾/訳
みすず書房



瀧村有子/文
鈴木永子/絵
福音館書店



スーザン・バーレイ/作・絵
小川未央/訳
評論社